



市民屋内大運動会など写真はコチラ▶十和田市写真館
http://www.city.towada.lg.jp/youkoso/photo/top.htm

「中学校体力づくり」コンテスト 十和田中が文部科学大臣賞

市立十和田中学校（大柳均校長）が第25回毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストにおいて、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞しました。これは、同校の体力づくり委員会を中心とした取り組みが高く評価されたものです。同委員長の堺健太くん（3年）は「2年間惜しくも1位に届かず悔しい思いをしてきました。全校一丸となって、念願の日本一をとれてうれしいです」と、受賞の喜びを話していました。



（写真左から）体力づくり委員会顧問の鳥谷部陽子教諭、境くん、小山田市長、生徒会長の今泉敦貴くん、大柳校長

伝統工芸の技術を間近で堪能 十和田ヒトとテシゴトオープンアトリエ

12月2日、現代美術館で「伝統とイマドキが、テシゴトで出会う～十和田ヒトとテシゴトオープンアトリエ」が開催されました。この催しは伝統工芸作家と観覧者の交流を通して、伝統工芸の魅力を発信しようとヒトとテシゴトの会（鶴田由紀美代表）が行ったものです。会場では南部裂織やきみがらスリッパなどの制作が行われ、訪れたかたは間近で見る手仕事の技術に足を止めて見入っていました。



南部裂織を手軽に体験できるコーナーも設置されました

プロ野球選手が熱い指導 坂本選手らを招き少年野球教室

12月11日、アネックススポーツランドで少年野球教室が行われました。講師に坂本勇人選手（読売ジャイアンツ）、塩見貴洋選手（楽天ゴールデンイーグルス）、秋山翔吾選手（西武ライオンズ）、田代将太郎選手（西武ライオンズ入団予定）の4人が招かれ、市内の小中学生70人が参加。坂本選手から指導を受けた太田篤くん（十和田中・2年）は、「指導がとてもわかりやすかった。今回の野球教室は一生の思い出です」と話していました。



ゴロの捕り方を指導する坂本選手

遊びを通して子どもたちの成長を育む とわだ子育て応援！わくわくランド

12月2日、市民文化センターで「とわだ子育て応援！わくわくランド」が開催されました。この催しは地域の子育てネットワークの強化などを目的に、県と十和田NPO子どもセンター・ハピたの（中沢洋子代表）が行ったものです。会場では、紙芝居の読み聞かせや観客参加型の「ぐうちよっぱ劇場！」が行われたほか、市内の子育てに関する情報を掲載したブースなどが設置され、家族連れなどで賑わっていました。



「ぐうちよっぱ劇場！」では、子どもたちと一緒に体を使って表現することを楽しみました

日本の伝統文化から「心技一体」を学ぶ 寺子屋稲生塾で書道と茶道を体験

12月10日、寺子屋稲生塾最終講座と閉講式が市民文化センターで行われ、26人が参加しました。講座では「書の心は武士道の心」と題し、塾生らは書道と茶道を体験しました。閉講式では全講座を受講した8人に修了証と稲生塾オリジナルボール、特性木札を贈呈。塾生を代表して三本木小学校5年の長畑幸子さんと賀子さん姉妹が「稲生塾は心に残る思い出となりました。学んだことを学校生活に役立てていきたいです」とあいさつしました。



茶道体験ではお茶を味わい、お運びも行いました

子どもから高齢者まで一緒に汗を流しました 市民屋内大運動会

12月4日、市総合体育センターで第7回市民屋内大運動会が行われました。小学校の地区ごとに分かれた約400人の参加者は、玉入れや長縄とびなど11競技を競い合いました。綱引き競技で優勝した松陽地区の大久保勝生くん（小学4年）は、「優勝できてとてもうれしい。玉入れなどたくさんの種目に出られて楽しかったです」と笑顔で話していました。



地区の誇りをかけて争われた綱引き競技。力の限り綱を引く参加者

Pick up 中央商店街にかつての賑わいの創出を アートステーショントワダがOPEN

11月25日、旧まちの駅跡地に複合商業施設「Art Station Towada（アートステーショントワダ）-AST-」がオープンしました。セレモニーでは事業主である（株）稲本商店代表取締役の稲本修明さんが「アートステーショントワダは再び活気のある十和田市を再生したいという思いで作られました。四季を通じて憩いの場となり、商店街と観光施設をつなぐステーション-駅のような存在になるよう願っています」と、あいさつ。また、公募によって名称が選出された工藤貴美子さんは「アートステーショントワダが呼ばれるたびに自分が呼ばれているみたいでうれしいです」と喜びを話していました。

25日から27日はオープン記念イベントとして、市立三本木中学校吹奏楽部などの演奏や十和田湖美水などが無料で振る舞われ、たくさんの市民らで賑わっていました。

ASTには、十和田市の観光情報の発信および特産品の販売を行う十和田市観光物産センターや旧まちの駅に入居していたテナントなどのほか十和田バラ焼きのアンテナショップなどの屋台がオープンしています。



▲オープンを告げる鏡開き



◀AST内中央広場ではオープンを記念してさまざまなイベントが行われました

▶12月10日、AST内十和田市観光物産センターの来館者が1万人を突破。1万人目の来館者となった七戸町の町屋さだ子さん（写真右）

